

# すくわくプログラム推進事業実践報告書 2024年12月-1回目

所在地	東京都新宿区戸山 1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

## 1. 活動のテーマ

### <テーマ>

制作物や身近なものに音をつけて楽しむ。

### <テーマの設定理由>

- ・日頃から、折り紙や絵を描くことを楽しんでいる。
- ・普段から、身近なものでイメージを膨らませながら遊んでいるので、ICT を利用することで、子どもたちのイメージを具体化して楽しめるように考えた。
- ・「絵や写真から音が出たらどんなふうになるかな?」という子どもたちから発せられた疑問を問いとして設定した。

## 2. 活動スケジュール

- ・2～3人で1チーム。3チームで行う。  
(参加者：たかよ、たつき、ひろせ、ななみ、りりか、かんな、きょうか)
- ・活動時間 1時間 (目安)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・iPad ・Kits アプリ (おとえ) ・プロジェクター
- ・エントランスを利用して、小グループで活動できるようにする。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

- ・制作物や園内の好きな場所の写真を撮る。
- ・「おとえ」を使って、写真や絵に音を付けていく。
- ・別のグループの作品を見て、人の発想を知る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・『おとえ』アプリの使用方法を説明し、エントランス内の好きな場所・ものの写真を撮影し、音をつけることを説明する。

(子どもたちの様子)

・いつも見ていた写真に、自分の考えた音を付けることを楽しんでいた。  
・身の回りの物を撮影し、子どもたち同士で「この音何にする?」「この音はどう?」と相談しながら音を登録していた。  
・慣れてくると、ほかの音が入らないように、静かな場所を探して録音する子、声の速さを変えて録音をする子など、子ども自ら工夫する様子が見られた。

(保育者の関わり)

・一人ひとりではなく、チームで行うことを伝える。活動中も、自分だけで使おうとする子に声をかけ、他児と一緒に作ることを伝える。  
・足音や、紙をクシャクシャする音、声などいろいろな音があること発見できるように紹介する。  
・プロジェクターで子どもたちの作品を共有し、自分以外の作品を見られるようにする。

活動のが分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・チームを作ったことで、他児と相談しながら進める様子が見られてよかった。多少、偏りはあるものの、保育者の声掛けにより、タブレット端末を、交代に使用することもできていた。
- ・アプリの使い方を説明して、子どもたちがどのように遊ぶか予想しながら関わったが、終わりの時間や、「いつ・どこで」子どもたちの作品を発表するかという話を細かくしていなかったため、おしまい時間になっても「まだやりたい!」という声が上がったため、次回は、時間のお約束をするようにする。
- ・一つの写真に一つの音、となってしまうことが多く、一枚の写真にいろいろな音を入れて楽しむ子が少なかったため、次回は、まず「写真一枚にいろいろな音を入れてみる」という体験ができるようにする。